

中国

中国総局

〒730-0016 広島市中区鞆町3番56号(中特会館)
電話082・2221・7236 FAX082・2223・1165
hiroshima@dean.co.jp

防府市

新庁舎は1.8万²m²想定

基本構想・計画案 民活導入も検討

山口県防府市の「防府市庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会」が11月30日に開かれ、基本構想・基本計画(案)を承認した。案では、必要最小限の建設用地を取得し庁舎を整備することを基本とし、PFIなど民間活力導入の可能性も模索していくとした。庁舎規模は延べ1万8000平方

広場3000平方(延べ)への移転新築を決めた。基本構想・基本計画案によると、新庁舎の規模は人口規模、職員数などから延べ1万8000平方(延べ)と想定。現在、本庁舎外にある部署のうち生涯学習課、文

建設候補地は、相当程度の市有地があること、将来にわたり市の都市核となり得る場所であることなどを条件に抽出。最終的に駅北公有地エリア(敷地約7200平方(延べ)、ほかに多目的

既設のり面構造物の補修・補強技術である「のリフレッシュ工法」を地域社会と連携しながら普及・発展させるとともに、その技術の信頼性を高めることを目的とした「中国・のリフレッシュ工法協会」が発足した。11月30日、広島市中区

のオリエンタルホテル広島で設立総会が開かれ、初代会長に金村賢二大政建設工業社長、副会長に森山和則美保テクノス常務を選出した。総会に先立ちあいさつに立った東平和ライト工業中

国統括支店長は「より地域に密着した協会活動を行うため、西日本・のリフレッシュ工法協会から分離独立し、新たに設立した。工法の技術の向上と普及、促進

とした。PFIをはじめとする事業手法の導入を検討するとともに、土地活用を含めた面的整備の検討の必要性も加えた。概算事業費は、庁舎施設をSRC造8階建て延べ1万8000平方(延べ)で試算。建築工事46億5000万円、電気設備13億5000万円、機械設備15億円、受変電設備1億2000万円、自家発電設備2億2000万円、エレベーター設備1億円など計85億円と想定。既設解体5億円、設計・監

理2億5000万円、用地取得などを合わせ総額で108億6000万円を見込んだ。整備スケジュールは、民間活力の導入の成否やPFIをはじめとする事業手法の選択により変わるとした。予定価格は4345万7040円だった。計画によると、複合施設はRC一部S造2階建て延べ1363平方(延べ)程度を想定。1階に幼稚園、2階に屋内運動場配置する計画。業務内容は複合施設の基本設計、実施設計一式。建設場所は茶屋町早沖442ほか。履行期間は17年12月15日まで。

中国・のリフレッシュ工法協会が発足

初代会長に金村大政建設工業社長



後も右肩上がりの成長を遂げると確信している。皆さまとともに市場を拡大し普及させていきたい」と意欲を示した。総会では、会則を承認し

会長に就任した金村社長は、理事11人、監事2人を選出。その後、16年度事業計画などを決めた。事務局はライト工業中国統括支店(広島市中区)に置く。のりフレッシュ工法は、老朽化した既設吹き付けモルタルを取り壊すことな

老朽化した既設吹き付けモルタルを取り壊すことなく、既設のり面を補修・補強することで安定させる技術で、安全性を高めるとともに、モルタル殻を発生させない環境にも優しい工法。作業は、既設モルタル面を補強する「増厚工」、既設モルタルと地山との空隙(げき)を埋める「空隙充填(てん)工」、風化地盤を改良する「地盤注入工」で構成するが、劣化、空洞、風化の程度に応じ、五つの施工タイプを設けている。

中国

中国支局

〒730-0012
広島市中区上八丁堀8-23
林業ビル
電話 082-227-5002
FAX 082-223-4526

chugoku
@kensetsunews.com

防府市が新庁舎計画案

駅北公有地に移築

延べ1.8万㎡ 事業費100億超

検討委員会に提示した。前回の委員会で示された骨子案に盛り込まれなかった想定規模をベースとした概算事業費や事業手法などについて言及しているほか、候補地を駅北公有地エリアとすることを踏まえ、移転新築を前提とする事業計画となっている。

構想・計画(案)では、「安全・安心の拠点となる、まちの顔としての庁舎」を基本理念とし、それを支える6つの柱として、▽安全・安心な暮らしを支える庁舎▽利便性の充実した誰もが利用しやすい庁舎▽親しまれつつ、つなごうの拠点となる庁舎▽環境にやさしく、誇りの持てる庁舎▽まちの活性化に貢献する庁舎▽経済性を考慮した庁舎——を掲げている。

セス性と集まりやすさの向上、市民が憩える空間整備、環境・景観への配慮、地域性・歴史性の継承、集約型都市の形成、財政負担の軽減を盛り込んでいる。

想定規模は、これまでに示されていた延べ約1万8000平方メートルを基本とし、効率的な空間活用を工夫することを前提に増加させないとしている。構造はSRC造8階建て(一部2階)を想定している。

候補地である駅北公有地は、4つの敷地と多目的広場で構成している(敷地面積工約7200平方メートル+多目的広場3000平方メートル)。利用する敷地については、「公有地のみ使用」「必要最低限の民有地取得」「さらに広い用地を取得し民活導入を展望」の3つの視点を提示し、事業性の比較を行うとしている。

概算事業費は敷地利用方法によって異なるため、それぞれの想定額を試算した。公有地のみの場合は110億円、必要最低限の民有地取得の場合には108億6000万円を

山口県防府市は、庁舎建設基本構想・基本計画(案)をまとめた。11月30日に開いた

山口県防府市は、庁舎建設基本構想・基本計画(案)をまとめた。11月30日に開いた

見込み、民活導入の場合は事業者の提案によるため明記していない。

事業手法は、DB(デザインビルド)、ECI(アーリー・コントラクター・インボリューションメント)、CM(コンストラクション・マネジメント)のほか、設計と施工を分離した場合のプロポーザルやコンペなどの方式を例示し、多くの選択肢の中から地元経済への影響なども加味しながら検討する必要性を示している。

今後の整備スケジュールは、用地取得や民活導入などの手法を導入した場合は、基

盤整備の計画策定や用地取得などの権利調整に5年程度を見込み、2022年度からの

基本・実施設計着手、24年度の着工、27年度の新庁舎供用開始を予定、公有地のみの場合には17年度から基盤整備などを進め、18年度の基本・実施設計着手、20年度の着工、22年度の新庁舎供用開始を見込んでいる。

さらに、今後の検討課題として、事業手法や面的整備の検討、用地取得の際の公共機関との連携、財政負担の低減、現庁舎とその敷地利用を挙げている。

活動していきたい」と設立の趣旨や目的を述べ、会員に対して協力を求めた。

総会では、協会会則(案)や2016年度事業計画(案)、予算(案)などを満場一致で承認した。

役員を選任に関しては、11人の理事、2人を監事を承認した上で、緊急の理事会を開き、会長に金村賢二大政建設工業社長、副会長に森山和則美保テクノス常務を選任した。

工法普及へ一致協力 初代協会長に金村氏

中国・のリフレッシュ工法協会の設立総会が11月30日、



広島市中区のオリエンタルホテル広島で開かれ、写真、会員が一致協力し、同工法の普及促進に取り組むことを申し合わせた。

冒頭、協会事務局を担うライト工業中国統括支店の東平和支店長があいさつに立ち、「本協会はより地域に密着した活動を展開するために西日本のリフレッシュ協会から分離独立し、工法の普及、促進を図り、老朽化した吹き付けモルタルの補修・補強技術の信頼性を高めることを目的に

初代会長に決まった金村氏は「既設構造物の補修、補強に関しては確実に増加すると考えている。その一翼を担うべく開発された本工法は多く実績を上げており、今後右肩上がりの成長を遂げることを確認している。会員各社の協力のもと、市場を拡大し、工法を普及させたい」と抱負を語った。

今年度は、パンフレット、カタログ、積算資料、技術資料などの作成や官公庁、主要コンサルタントへの広報など、技術向上・発展、広報活動を実施するとともに、協会の目的を達成するために必要な事業を積極的に展開する。

発注公告

中国地方整備局の管内出先事務所は2日、簡易公募型競争入札2件を公告する。 4面に公告

香川県丸亀市
リックコム、
る市庁舎等増
計画(案案)
事務所を対

丸亀市
8

高知県香
4施設ES
・サービス
業の公募型
告した。募
環境対策課
で、配布ハ
募の必須条
明会への参
子メール(2
chi-kanan
る。参加表
。

